



地域と医療を結ぶ広報誌

風によせて

Shirakawa Kosei General Hospital

VOL.
72
2024.10
KAZENI
YOSETE



明神滝 (天栄村)

CONTENTS

- 病院長挨拶 2
- 医療連携 3
- こんにちは！新任です 3
- 特集 4
- 在宅診療について 5
- 第 19 回緩和医療研究会 6

- 看護学院オープンキャンパス 6
- 永年勤続表彰 7
- 病院運営委員会 7
- 救急マニュアル研修会 7
- 無料巡回バスのご案内 8

特集 漢方薬を知ろう



JA福島厚生連
白河厚生総合病院



ごあいさつ salutation



病院長
農村健診センター所長
大木 進司



今月の表紙 Cover Story

【明神滝（天栄村）】

夏も終わり、秋の色が見えてきました。
ひんやりとした空気、自然な水の流れは
心が癒されます。

健康経営宣言

今年の秋は10月に入っても都心では暑い日が続き、衣替えのタイミングがわからないという声が多く聞かれました。長期予報では秋晴れが少ない短い秋になる予想で、寒暖差から体調を崩しやすくなるためしっかりと健康管理が必要です。

ところで皆さんは「健康経営」という言葉をご存じでしょうか？耳慣れない方もおられると思いますが、経済産業省や厚生労働省が推進している労働者の健康を守ることが、生産性の向上や企業成長につながるという考え方です。具体的には働き方改革、健康診断実施率向上、有給休暇取得、ストレスチェック、ハラスメント対策など多岐にわたります。健康経営の推進に関する全社方針を社内向けに明文化している割合は2014年の53.3%か2021年には92%まで増加しその意識は高まっています。

一方で医療の世界ではその意識や取り組みへの遅れが指摘されています。病院における健康経営には、多くのメリットがある一方で、実施にはいくつかの難しさや課題が存在します。これらの課題は、医療業界特有の要素や病院内の構造的な問題に関連しています。一つは過重労働と人員不足です。医療現場では慢性的な人員不足が続いており、職員が過重労働に陥りやすい状況があります。特に看護師や医師の長時間勤務は一般的で、健康経営を導入しても、即座に労働環境が改善されるわけではありません。さらに、現場で働く医療従事者のシフト管理や労働時間の短縮は容易ではなく、健康管理のための時間を確保するのが困難です。もう一つは医療現場の文化的背景です。医療現場では、長時間労働や厳しい勤務環境が長い間「当たり前」とされてきた歴史があり、健康経営に向けた変革を進めるには、文化的な抵抗があることがしばしばです。特に、長年にわたる慣習を変えることは、職員からの理解を得るのが難しく、健康経営を進める上での大きな障害となります。

しかし医療従事者はストレスや過重労働のリスクが高い職種です。健康経営を宣言することで、職員の心身の健康管理を積極的に行い、ストレス軽減や適切な労働時間の確保、メンタルヘルスのサポートなどが期待されます。そして職員の健康が保たれることで、集中力や判断力が向上し、患者さんに対する医療の質や安全性が向上します。健康経営は病院全体のパフォーマンスにも影響を与え、より良い医療サービス提供を可能にします。健康経営を掲げることで、職場環境が整備され、人材の確保や定着に繋がります。特に医療現場では、働きやすさと健康管理の取り組みが離職率の低下に寄与すると考えています。

当院は全ての職員が心身ともに健康で、やりがいを持ちいきいきと働ける職場環境を実現することを宣言します。そして職員一人ひとりの健康が、医療の質向上に直結することを認識し、地域の皆様へ最良の医療を提供してまいります。

白河厚生総合病院について

基本 理念

地域を守り地域の皆様に
愛される病院を目指します

基本 方針

- 私たちは
- 一、医療、保健、福祉事業を通して地域住民の健康を守り、豊かな暮らしに貢献します
 - 一、県南の中核病院として関係機関との連携を深め、地域医療の向上に努めます
 - 一、患者さんを全人的に理解し、優しさと思いやりをもって接します
 - 一、十分に説明をし、患者さんの意志を尊重した医療を実践します
 - 一、使命を自覚し、たゆまず研鑽を積んで医療の質の向上と人材の育成に努めます

当院は人々に孝行を尽くすとの基本理念のもと患者への笑顔とやさしさをモットーに、患者を自分の家族・身内として捉え患者一人一人のニーズを考え、患者サービスの向上に努めております。また患者サービスの根底には、経営は人格の上に成り立つとの理念に従い、スタッフ一人一人が患者サービスの責任者であるという高い志を持ち、常に人格を養う努力をするように教育しております。

地域医療連携室・入退院支援室を設置し、患者及び家族へ入院から退院までの支援を行っており、また2024年6月より訪問看護も開設し、今後地域包括支援を含めた幅広い支援体制の構築を目指しております。今後とも地域に根付いた医療機関として地域医療に貢献してまいります。

医療法人社団 恵周会 白河病院 病院長 和久 昌幸

診療情報

診察日	診療時間
月曜日～金曜日	8:30～11:30
第1・3・5 土曜日	8:30～11:00

※再診予約制をとっております ※日曜日、祝日、第2・第4土曜日、年末年始(12/31～1/3)は休診となっております。 ※一部変更になる場合がございます。ご不明な点は、お電話にてご相談ください。病院の詳細についてはホームページをご覧ください。
<https://www.shirakawa-hp.jp/>



診療科目

内科・透析科・整形外科・消化器・一般外科・循環器内科・脳神経外科

- 住所／白河市六反山 10-1
- TEL／0248-23-2700 FAX／0248-23-4609
- 病院長／和久 昌幸(わく まさゆき)



明日のために、地域のために、
 私たちが今できることを。

小さな一歩の積み重ねで
 未来を築きます。

こんにちは！ **新任** です



白河厚生総合病院では、
 新しくとても優秀な先生が、
 新任されました。

総合診療科



菅野 裕樹 【出身地】福島県
 (かんの ゆうき)

略 歴 ● 令和2年 東北大学医学部医学科卒業
 資格・専門 ● 後期研修医

東京での1年間の研修を終え、10月からまた白河厚生総合病院でお世話になります。たくさんのご指導をいただければと思います。よろしくお願いいたします。

麻酔科



大石彩友美 【出身地】福島県
 (おおishi あゆみ)

趣味・娯楽 ● 食べること、旅行
 略 歴 ● 令和4年 福島県立医科大学卒業
 資格・専門 ● 麻酔一般

精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。

産婦人科



伊藤 百花 【出身地】福島県
 (いとう ももか)

趣味・娯楽 ● 旅行
 略 歴 ● 令和3年 福島県立医科大学 医学部 卒業
 資格・専門 ● 産婦人科

白河の医療に貢献できるよう、誠意を尽くして頑張ります。よろしくお願いいたします。

早く白河での職務に
 慣れるよう精一杯頑張りますので、
 よろしくお願ひいたします。

漢方薬とは

漢方薬とは、いくつかの生薬を組み合わせて作られる医薬品です。漢方薬の原料である生薬は、植物、動物、鉱物等に、簡単な加工（乾燥等）を加えたものです。

日本で保険適用となる漢方薬は148種あり、これらを構成する生薬成分はさらに多くの種類があると言えます。

漢方薬による副作用を考えると、漢方薬を構成する生薬成分1つ1つにも注意を要します。漢方薬の副作用を未然に防ぐためには、副作用をよく理解しておくことが大切です。

漢方薬の副作用とは？

漢方薬による重大な副作用として「間質性肺炎」「偽アルドステロン症」「肝機能障害・黄疸」「腸間膜静脈硬化症」の4つが挙げられます。これらは漢方薬の副作用の半数以上を占めます。

一方、副作用の頻度としては低いですが、軽視できない生薬由来の副作用として、^{まおう}麻黄由来の自律神経系症状や、^{ぶし}附子由来の心血管系症状などがあります。なかなか見かけることがないため、認知されていない方もいらっしゃるかもしれません。本特集では、これら2点の生薬由来の副作用を紹介します。

① ^{まおう}麻黄由来の自律神経症状

自覚症状：不眠、発汗過多、頻脈、動悸、全身脱力感、精神興奮など

麻黄を含むツムラ医療用漢方製剤

かっこんとう 葛根湯(3.0g) / かっこんとうかせんきゅうしんい 葛根湯加川芎辛夷(3.0g) / しょうせいりゅうとう 小青竜湯(3.0g) / まおうとう 麻黄湯(5.0g) / えっぴかじゅつとう 越婢加朮湯(6.0g)
よくいんとう 薏苡仁湯(4.0g) / まきょうかんせきとう 麻杏甘石湯(4.0g) / ぼうふうつうしょうざん 防風通聖散(1.2g) / ごしゃくざん 五積散(1.0g) / まきょうよくかんとく 麻杏薏甘湯(4.0g)
しんぴとう 神秘湯(5.0g) / ごことく 五虎湯(4.0g) / まおうぶしさいしんとう 麻黄附子細辛湯(4.0g)

※カッコ内は麻黄の含有量(含有量が高いほど発症リスクは高い)

② ^{ぶし}附子由来の心血管系症状

自覚症状：動悸、息切れ、倦怠感、めまい、失神など

附子を含むツムラ医療用漢方製剤

はちみじおうがん 八味地黄丸(0.5g) / けいしかじゅつぶとう 桂枝加朮附湯(0.5g) / しんぶとう 真武湯(0.5g) / だいぼうふうとう 大防風湯(1.0g) / ごしゃじんきがん 牛車腎気丸(1.0g)
まおうぶしさいしんとう 麻黄附子細辛湯(1.0g)

※カッコ内は麻黄の含有量(含有量が高いほど発症リスクは高い)

漢方薬を正しく服用するために

漢方薬は、どちらかというとな馴染みがない薬剤かもしれませんが、複数の漢方薬を併用することは珍しくありません。これを機会に、漢方薬について少しでも知っていただけたならば幸いです。薬剤科では、患者さんに安心して治療に臨んでいただけるよう、副作用防止に努めております。もし気になる症状があれば、当院薬剤科またはお近くの医療機関までご相談いただければと思います。



地域医に寄り添う在宅医療

白河厚生総合病院 総合診療科 小坂 明博

在宅療養支援診療所は令和4年4月1日に開設し、福島県南地域における在宅医療の重要な担い手とし、地域住民の在宅療養を支えるため、日々の訪問診療を通じて患者やその家族に寄り添う医療を日々めざしております。

訪問診療は福島県白河市や周辺地域を対象に行われ、総合診療科の現在医師4名が対応しています。患者の実人数は83人に達し、悪性腫瘍終末期や重度認知症、神経難病、糖尿病など多岐にわたる疾患に対応しています。訪問頻度は患者の希望に応じて調整され、患者や家族とのコミュニケーションを大切にしながら診療を進めていきます。

対象地域は、白河市、矢吹町、泉崎村、中島村、西郷村、栃木県那須郡の一部となります。月、火、木曜日の午前。火、水、木、金曜日の午後の交代診療を実施しており、夜間、休日は担当医が電話対応し、緊急往診が必要な時は当番医が対応しております。

訪問診療で対応が難しくなった患者はスムーズに入院治療に移行でき、退院後も継続的な在宅療養が可能です。また、診療材料の調達もスムーズに行われ、24時間365日の連絡体制が整っています。

当院の訪問診療は地域住民の医療ニーズに応え患者さんや家族が安心して自宅で最期を迎えられる環境づくりに貢献していき、希望に寄り添う診療が出来る様、サポートしていきます。皆様も訪問診療を考えている方は、ケアマネージャーやかかりつけ医師にご相談ください。

第19回福島県緩和医療研究会 開催

緩和ケアサポートチーム一同

2024年8月3日(土)白河厚生総合病院 消化器外科部長の竹村真一先生が大会長として、第19回福島県緩和医療研究会が開催されました。県内の緩和医療に携わる医療従事者約50名が参加しました。

研究会は二部構成で開催され、第一部の一般演題では、県内各施設の医師、看護師、薬剤師より7演題が発表されました。当院からは、看護部 小針文子より「認知症高齢終末期乳がん患者の『家に帰りたい』思いを多職種でつないだ在宅療養支援」、薬剤科 鈴木茂太より「レスキュー麻薬自己管理の活動報告」について発表がありました。発表後は、各発表者、参加者と質疑応答を通じて意見交換の場となりました。

また、特別講演では社会福祉法人仁生社 江戸川病院 腫瘍血液内科副部長兼化学療法センター長の後藤宏顕先生より「ケモとカンワの交差点で思うことv1.1」と題した講演をいただきました。公認心理師の資格を持ち、がん治療医として日々診療にあたりながら緩和ケアに携わる現状を知る貴重な機会となりました。

緩和ケアは、患者さん一人ひとりのからだや心などの様々な苦痛を和らげ、より豊かな人生を送ることができるよう支えていくためのケアです。

私たち緩和ケアチームは、今後さらに緩和ケアの質を高めるべく研鑽を積み重ね、患者さんご家族が安心して過ごせるよう、多職種連携を大切にしながら質の高い緩和ケアの提供に日々努めてまいります。



オープンキャンパス・学院祭を開催しました。

看護学院 芳賀 洋平

令和6年7月21日(日)にオープンキャンパス・学院祭を開催しました。進学希望者や保護者を含む約70名の方にお越しいただきました。

第1部の学校説明会では、学校紹介・令和7年度入試概要や学院生活について、教員及び各学年の代表者が説明しました。また、サークル紹介では和やかな雰囲気の中で学生各々が考えた方法で発表することができました。

第2部の学院祭は、今年度より一般公開となり、地域の方々を含む多くの皆さまにご来場いただきました。各教室で学習成果物の紹介や看護クイズなどを行いました。看護実習室では、3年生が中心となり聴診法や注射法などの看護技術を参加者と一緒に行いました。

進路相談では、学習方法や学院生活などについて、先輩の話を熱心に聞いていました。オープンキャンパス・学院祭は在校生にとっても大変有意義な時間となり、本学院の魅力を十分にPRすることができました。



NEWS

01

永年勤続表彰式

総務課 鈴木 夏海

令和6年8月9日(金)、永年勤続30年功労職員表彰式を福島市にありますJA福島ビルで行い、8月13日(火)会議室にて永年勤続20年功労職員表彰式を行い、出席された表彰者に表彰状が送られました。表彰者からは、『これからも、地域の皆様のために尽力していきたい。』とお話を頂きました。



NEWS

02

病院運営委員会

総務課 鈴木 伸英

令和6年8月1日(木)、白河厚生総合病院の会議室にて病院運営委員会が開催されました。この委員会には、JA夢みなみ、JA東西しらかわ、当病院の代表者、白河市、矢吹町、西郷村、泉崎村、中島村、那須町の首長などが出席し、病院運営に関する重要な事項を審議しました。また、地域の要望を病院に反映させ、地域医療の確保と農村地域の健康増進を図ることも目的としています。

委員会では、令和5年の決算概況などの事業報告が行われ、令和6年度の事業計画についても説明されました。これらの議題は、出席者全員の賛同を得て承認されました。

NEWS

03

救急マニュアル研修会

総務課 山田 卓

6月から2か月間にわたり、救急医療マニュアル研修会を実施しました。この研修会は、救急時の患者対応に関する知識と技術を学ぶ場で、毎年、研修医や看護師だけでなく、全ての職員や救急隊員を対象に開催されています。

研修では、様々な救急患者への対応方法が紹介され、特にBLS（一次救命処置）についても詳しく学びました。AEDの使用方法や心臓マッサージの実技を含め、実際の場面を想定したトレーニングが行われました。この研修を通じて、全職員の救急対応スキルと知識の向上を図り、より多くのスタッフが緊急時に対応できるようにすることを目指しています。



白河厚生総合病院 無料巡回バスのご案内

白河厚生総合病院から新白河駅間の往復で無料の巡回バスがご利用頂けます。

白河厚生総合病院 バスコース



※病院の休診日(日曜日、祝祭日、第1・3土曜日、お盆・年末年始)は運休します。
 ※土曜診療日の運行は7便までとなります。
 ※停留所の標識はありません。

白河厚生総合病院無料巡回バス 時刻表

停車場所		1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便	8便	9便
行き	新白河駅(東口)	7:35	—	9:30	—	11:00	12:00	—	14:45	—
	福島銀行白河支店(新白河)	7:40	—	9:35	—	11:05	12:05	—	14:50	—
	白河柏屋向かい側(昭和町)	7:43	—	9:40	—	11:10	12:10	—	14:55	—
	白河駅	7:50	8:35	9:45	10:15	11:15	12:15	12:45	15:00	—
	ヨークベニマル横町店向かい	7:53	8:38	9:48	10:18	11:18	12:18	12:48	15:03	—
	小峰大橋 田町側	7:55	8:40	9:50	10:20	11:20	12:20	12:50	15:05	—
	白河厚生総合病院	8:15	9:00	10:00	10:30	11:30	12:30	13:00	15:15	—
帰り	白河厚生総合病院	—	9:00	10:00	10:30	11:30	12:30	14:15	15:15	15:45
	小峰大橋 田町側	—	9:10	10:10	10:40	11:40	12:40	14:25	15:25	15:55
	ヨークベニマル横町店前	—	9:13	10:13	10:43	11:43	12:43	14:28	15:28	15:58
	白河駅	—	9:15	10:15	10:45	11:45	12:45	14:30	15:30	16:00
	白河柏屋前(昭和町)	—	9:20	—	10:50	11:50	—	14:35	—	16:05
	福島銀行白河支店(新白河)向かい	—	9:25	—	10:55	11:55	—	14:40	—	16:10
	新白河駅(東口)	—	9:30	—	11:00	12:00	—	14:45	—	16:15

【おしらせ】・交通や天候の事情により、出発時間、到着時間が遅れる場合がございます。予めご了承ください。